

映像から見る現代

## 映画「隣る人」 上映とトーク

～放っとけない！ 子ども・若者・子育て中の親を地域で支えるために～

家族として、居場所のスタッフとして、地域で子どもや若者の育ちを見守るために、一人ひとりができることを一緒に考えてみませんか。

時 2月11日(月・祝)  
14時～16時50分

場 田無公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

ゲスト 稲塚由美子(ドキュメンタリー映画「隣る人」企画、社会福祉法人児童養護施設「光の子どもの家」理事、足立区民生・児童委員)

申 2月4日(月)10時から  
電話かメールで田無公民館へ

【作品介绍】

「親代わり」の保育士マリコさんと共に暮らすムツミとマリナ。2人はマリコさんを取り合ってケンカすることもしばしば。「子どもたちと暮らす」ことを実践する児童養護施設「光の子どもの家」の生活を8年にわたって密着したドキュメンタリー。

【プログラム】

時間	内容
14:05～15:30	「隣る人」上映
15:30～15:40	休憩
15:40～16:50	ゲストトーク、参加者どうして交流



監督：刀川和也／企画：稲塚由美子／2011年／1時間25分

ロビー企画

## ロビーコンサート 中国二胡 -悠久の調べ-

中国の伝統的な楽器で、バラエティ豊かな名曲を奏でます。独特の音色を一緒に楽しみませんか。

時 2月24日(日)14時～15時

場 田無公民館

出演 中国二胡縁楽団

曲目「夜明けのスキヤット」「望春風」「シバの女王」ほか

※当日、直接会場にお越しください。



ライフスタイル講座

## 地域で楽しむ創作活動 ～西東京市を漫画にしよう!～

紙とペンで始めよう！ 漫画の創作を通して、わたしたちのまちの魅力や問題提起したいところを発見しませんか？

時 日曜日 10時～12時

場 田無公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 15人(申込多数の場合は抽選)

講 川崎昌平(作家・編集者)

申 2月15日(金)10時までに電話かメールで田無公民館へ

回	月日	内容
1	2月24日	何を、誰に、どう伝えるかを考えよう
2	3月 3日	ストーリーを決めよう
3	3月10日	漫画を仕上げよう
4	3月17日	漫画を読もう



映像から「今」を考える

## 上映会 「アイ・アム・ロヒンギャ」(字幕)

ミャンマーから命がけでカナダに移り住んだ14人の若きロヒンギャ難民。演劇を通じて、自らが受けてきた迫害や直面する現実を世界の人々に伝えようとする姿を描いています。

時 3月3日(日)

13時半開場・14時上映

場 保谷駅前公民館

対 市内在住・在勤・在学者優先

定 40人程度(申込順)

申 2月4日(月)10時から電話で保谷駅前公民館へ

※ UNHCR 難民映画祭2018 パートナース上映



© clnnerspeak Media

監督：ユスフ・ズィーネ／2018年／カナダ／1時間30分／ドキュメンタリー

雇用・労働問題講座

## 働く人たちのセーフティネット ～困ったときの相談先を探して歩こう～

失業したり、病気になったり、家族に介護が必要になったりするなど、働き続けることが困難になった時、社会にはどのようなセーフティネットがあるのでしょうか。もしもの時、自分を支えてくれる制度や相談先などを一緒に探しましょう。

働いている方も、働いている方のご家族もどうぞ。

時 日曜日 10時～13時

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者優先

定 25人(申込順)

講 青野恵美子(明治大学労働教育メディア研究センター客員研究員・映像制作者)

高須裕彦(法政大学フェアレイベー研究所特任研究員)

申 2月4日(月)10時から電話かメールで柳沢公民館へ

回	月日	内容
1	2月24日	・どんな働き方があるか、自分は何のワークスタイルにあてはまるのかを知る。 ・ワークスタイル別のセーフティネットを知る。
2	3月24日	働き続けるのが困難になった時、どんな相談先があるのか、どんな制度を利用できるのかを知る。

※第1回目と第2回目の間に、希望者は、講師と一緒に、相談機関などを訪ねて、取材します。

【取材先候補】東京都労働相談情報センター、地域包括支援センターなど

子どもの課題を考える講座

共催事業

## 多様な生き方考える ～不登校に悩む子どもに寄り添うために～

具体的な事例やその対応から、親として、地域の大人として、どういう寄り添いができるかを考えます。

時 2月17日(日)13時～16時

場 ひばりが丘公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

講 内田良子(心理カウンセラー・子ども相談室「モモの部屋」主催)

申 2月1日(金)10時から電話でひばりが丘公民館へ

※育成会ひばりとの共催



くるみ学級の学級生を募集します

柳沢公民館には、知的障がいのある方が、仲間と一緒に余暇活動を行う「くるみ学級」があります。学級では、調理、音楽、スポーツなどの活動を通じて仲間との交流を深めます。詳細については、2月14日(木)17時までに柳沢公民館へお問い合わせください。

ムービールーム柳沢

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

※原則として一人で複数の申し込みはできません。開場時間は上映開始時間の30分前です。

申し込みが必要です

「アメリカン・グラフィティ」  
(1973年/アメリカ/1時間50分)

2月13日(水)14時～

監督：ジョージ・ルーカス  
出演：リチャード・ドレイファス ロン・ハワード ほか

申 2月4日(月)9時から平日9時～17時に電話で柳沢公民館へ



こちららのプラネタリウムは最も多くの星(1億4千万個以上)を投影することでギネス世界記録に認定されたこと知り、私たちが住む西東京市に世界レベルのものがあるのかと驚きました。そのプラネタリウムデビューは3歳の夏でした。子ども向けプログラムということもあり、飽きずに騒がず最後まで観ることができ、成長を感じました。

【紹介してくれた人】  
真由美さん  
優吾くん(3歳9か月)



普段とは違うお散歩をしたい時、私たちは多摩六都科学館へお出かけします。初めて行ったのは、息子がよちよち歩きの1歳を過ぎた頃でした。「1歳で科学はまだ早いかな？」と思いつつ行って見たのですが、息子はなかなか帰りがたがらず困ったことが思い出されず、自分自身の足で歩く楽しさと、普段目にするものとは違う新鮮さがあったのかもしれない。

館内は体験しながら学べる展示も多く、1日過ごせる場所なので、お弁当を持参して休憩室があるのも乳幼児連れには助かります。敷地の内庭には遊べるオブジェや展示があります。中に入るのと外の光が星のように見える球体は息子の気に入りました。さらに大のお気に入り宇宙飛行士の顔ハメパネル！何度来ても必ず写真を撮ります。そんなきつかけであつても将来は本物の宇宙飛行士になりたいと思いませんか？

あやこさんぽ